

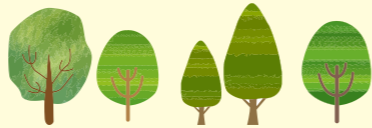
生垣の設置に助成します (※必ず着工前にご相談ください)

住宅地などに生垣を設置する場合、費用の一部を助成し、市民の皆さんが実施する緑のまちづくりのお手伝いをしています。
個人で、樹木や資材を購入して生垣を設置する場合でも助成いたします。

助成対象

公道に面する部分の生垣で、次の条件を全て満たすものです。

- 公衆道路に延長5m以上接した新設の生垣であること
- 樹木の高さは、外部から見える部分が90cm以上であること
- 樹木は、50cm間隔以内で植栽すること
- 生垣を構成する土台の高さは1m以下であること



助成金額と申請方法

- 助成金額は工事費の2分の1以内で、5万円が限度となります。
- 助成金の交付を受ける場合は、着工前に申請することと、着工前及び着工後の現場写真が必要となりますので、着工前に必ず公園緑地課までご相談ください。



お問い合わせ

ひたちなか市
公園緑地課

〒312-8501
茨城県ひたちなか市東石川2丁目10番1号

電話
(029)273-0111 [内線 1383, 1384]

再生紙を使用しています。

皆様の善意が緑のまちづくりを推進しています

市では、緑地の確保や市民の緑化活動の助成などに活用することを目的に「緑のまちづくり基金」募金箱をコミセン、図書館、体育館などの公共施設29施設に設置しています。
この基金は、市の資金と市民の皆様からお寄せいただいた心温まる善意を積み立てています。今年度は次の方々からご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

(敬称略)

- 工機労働組合
- ふるさと納税 (目的: 緑地保全・緑化推進)
- 緑のまちづくり基金 募金箱



緑のまちづくり

ひたちなか市

No. 43

GREEN CITY・HITACHINAKA

2022年3月

自治会・市が連携 公園整備

金上ふれあい公園

市の既成市街地には、まとまった規模の公園がない地区があり、公園空白地対策事業において、平成30年度より計画的に整備を進めています。

3カ所目となった金上ふれあい公園は、今年度、旧金上保育所跡地に整備されました。地域に愛される公園づくりを目指し、地元の金上自治会が、公園遊具の選定などを主体的に行い、市と協働で整備を進めてきました。その1つとして行った芝張りには、雨空の中、自治会員約30名が参加しました。現在は、地域の子どもから高齢者まで幅広い世代の方々が賑わう公園となっています。

完成した
金上ふれあい公園



芝張り参加の皆さん

芝張りの手順

1 今回張付けをする芝生



2 1枚、1枚丁寧に並べていきます



3 張付け完成まであと少し!



4 綺麗な芝生広場が完成



身近な公園をきれいにしましょう！ あなたの街の「公園管理団体」を紹介します

市内約300の公園のうち、約6割の公園は自治会や地域の皆様に公園管理団体としてご協力をいただき、除草等の維持管理を行っています。今回、地域で活躍する公園管理団体をご紹介します。

湊本町自治会 ～公園を皆さんが気持ちよく利用できることが、私たちの喜びです～

湊公園は、那珂湊の小高い丘の上にあり、海と街の素晴らしい風景が広がっています。

湊本町自治会では、今年度から湊公園の管理団体として活動をスタートさせ、現在は、月1回のペースで公園内広場の除草や花壇整備に取り組んでいます。

湊本町自治会の朝日会長は、「自分が生まれ育った地元の公園。いつも綺麗な状態で、多くの人が気持ちよく利用することが自分たちにとっても気持ちがよいと感じたことが活動を始めたきっかけです」と話します。

スタート当初は、慣れない作業の連続で戸惑いもありましたが、回数を重ねるごとに作業スピードや効率上がり、何より「公園が綺麗になる」という目に見える成果と、活動を通して生まれる幅広い世代の公園利用者とのコミュニケーションの楽しさが活動の原動力になっています。

朝日会長は、「何気ない会話の中から、地域の方のニーズなど自治会運営のヒントとなるような貴重な情報を聞く機会もあり、今後も一度きりのボランティアとしてではなく、継続可能な方法を模索しながら活動に取り組んでいきたいです」と話されていました。



津田第1公園管理団体 ～手間ひまかけて、愛情込めて、芝生を育てています～

津田第1公園管理団体では、草が伸びる夏季を中心に、月に2回、芝生広場の除草や清掃等を行っています。

地域の皆さまが気持ちよく利用してもらえる公園づくりをモットーに、「芝生を雑草からいかに守るか」を念頭に置きながら活動に取り組んでいます。具体的に工夫していることは、雑草に負けない「強い芝」を育成するための定期的な施肥と手鎌による雑草の抜根です。特に雑草の抜根は、草刈機では根元からの抜き取りが困難であるため、手作業によるひと手間を加え、芝生の維持管理に努めています。

手入れが行き届いた芝生広場が一面に広がり、利用者からは「いつも綺麗な公園」との声が多く、小さな子どもから高齢者まで幅広い世代の方々が集う場となっています。

管理団体代表の小堀さんは、「造園会社以上の維持管理を目指し、水戸市千波湖畔に広がる芝生広場を目標にしていきたいです。また、花壇などの整備も順次行っていき、見た目でも楽しめる、彩り豊かな公園づくりをしていきたいです」と話されていました。



あなたの街の「花壇づくり団体」を紹介します

田彦中学区地域づくりの会 ～27年間、地域に憩いと安らぎを提供しています～

田彦中学区地域づくりの会では、環境部会のメンバーが中心となり、地元の自治会や高齢者クラブと連携をしながら、地域の花壇づくりに取り組んでいます。

花壇づくりを始めて今年で27年目を迎える当団体の活動は、「地域の方々が日常的に使い、そして集まる場所には、ホッと一息安らぐ空間を作りたい」という思いが原動力となっており、現在は、地域交流の拠点である「田彦コミュニティセンター」、子どもから高齢者まで幅広い世代が集う「大島公園」、そして国道6号の田彦・金上道路の田彦交差点から大島陸橋前の交差点までの、通称「山新通り」の道路植樹樹の計3カ所に花壇を整備しています。

活動場所の1つである、約1.5kmに渡る「山新通り」の道路植樹樹には、約200カ所の花壇があり、例年6月の梅雨入り前の時期に多くの地域住民が参加し、マリーゴールドの花植えを行っています。本数にして1,500本ほどになり、植栽後は、彩りにあふれた癒しの景色が目の前に広がります。

昨年度はコロナ禍の影響で中止となりましたが、今年度は感染症対策を徹底した上で2年ぶりに実施し、約80名の参加者が集まり、皆で協力をしながら、花植えを行いました。

当団体環境部会部会長の松原さんは、「コロナ禍が続く、社会全体に停滞感が漂う中、ふとした時に花壇に咲いている花を見て、小さな心地よさを感じてもらいたいです」と話されていました。



花いっぱい運動にご協力いただける「花壇づくり団体」募集！

花いっぱい運動とは、花づくりを通して、地域の皆さんがつながりを深めるとともに、美しい街づくりを進めることで自分たちの住む地域に愛着を持っていただく運動です。

ひたちなか市市民憲章実践部会では、市民団体が道路の植樹樹や花壇など、日常的に人の目にふれやすい公共施設などへ花を植える場合、その一部について助成金を交付しています。詳しくは公園緑地課までお問い合わせください。